



▲市民公開講座の様子

**市民公開講座開催の報告**  
 平成26年4月19日(土) 吉備国際大学南あわじ志知キャンパス大講義室において、市民公開講座「人類の生存基盤を支える育種(品種改良)と育種学 ―イネ編―」を開催し多くの方にご参加頂きました。イネの育種学研究は他作物に関する研究と比べて高水準で、他作物の研究にも応用できるという大きなメリットがあります。

今回の講座では、育種学研究の第一線に立つ若手研究者を迎え、今後の品種改良の重要性、イネの開花期調整による新たな品種育成の可能性、イネトランスジェニックの育種利用等の最先端研究を報告して頂きました。当日ご参加できなかった方

すでに5月に2回開催し、昨年度同様、本学地域創成農学部教員による講義をおこなっておりま。今年度は計7回、8月まで講義をおこなう予定です。

**地域連携センター**  
 ☎42・4708

**キャンパス事務室**  
 ☎42・4700

**ランチ・タイム講座**



▲今年のランチタイム講座

5月7日(水)より平成26年度吉備国際大学ランチ・タイム講座を開催しております。今年度は昨年を上回る沢山の応募を頂き誠にありがとうございます。ごさいました。

で配布資料等必要な方は地域連携センター迄ご連絡ください。また、学校等の出前授業も行いますのでご連絡ください。

**吉備国際大学からのお知らせ**



▲感謝状を受け取る野口三次代表取締役 (右)

**株式会社パイオニアより寄附**

福良に淡路工場を開設してから10周年を迎えられた遊戯機器メーカーの株式会社パイオニア様(本社 東大阪市)より、南あわじ市へ100万円が寄附されました。

5月9日、中田市長より、同社 野口三次代表取締役へお礼申し上げ、感謝状を手渡しました。

ご寄附頂き誠にありがとうございました。ごさいました。

**26年度市連合自治会大会が開催**



▲あいさつを行う原 孝会長

市内の自治会長が参加して、南あわじ市連合自治会大会が4月26日に行われました。大会では、平成25年度をもって退任される連合自治会役員の

人たちが2年以上連続して自治会長を務められて退任される人たちに、中田市長より感謝状の贈呈が行われました。

平成26年度連合自治会の本部役員は次の人たちです。

- ※敬称略(所属地区)
- 会 長 原 孝 (福良)
  - 副会長 喜田 進 (丸山)
  - 萩山 利夫 (広田)
  - 奈良 正博 (市)
  - 松坂 壽仁 (潮美台)
  - 会 計 榎本 貴 (神代)
  - 会 計 監 査 太田 利数 (倭文)
  - 篠原 満 (阿那賀)

**ふるさと納税**

ふるさと納税とは、自分が応援したい都道府県・市区町村に「寄附」をする制度です。寄附を行った場合、確定申告することにより、個人住民税や所得税の一部が控除されます。

市のホームページに寄附金控除試算シートを掲載しています。寄附の上限額や税金の軽減額を試算するもので、個人の寄附による税金の軽減額の目安としてご利用ください。

**ふるさと南あわじ応援寄附金**

区分	件数	金額
南あわじ市内	420件	58,926,719円
市外(島内)	60件	11,363,000円
市外(島外)	283件	33,909,940円
合計	763件	104,199,659円

※詳細は市のホームページに掲載しています

**今月の納税**

市・県民税.....【1期】  
**納期限 6月30日(月)**  
 《納期内に忘れず納付しましょう》

◆安心・便利・確実な口座振替

市税は口座振替で納付することができます。手続きをすれば、納付のたびに金融機関等に行く必要がなく納め忘れがありませんので、大変便利です。  
 ※預貯金通帳と、届出印を持参の上、市内の金融機関(郵便局含む)または市役所窓口で手続きをしてください

◆便利なコンビニでの納付

市税はコンビニで納付することができます。ご自宅、勤務先の近くのコンビニで、土日・祝日を問わず、24時間いつでも納付できますので、大変便利です。  
 ※納付が30万円を超える場合は、コンビニで納付できません。

**平成26年度の市・県民税(住民税)について**

今月、市・県民税(普通徴収)の納税通知書をお送りします。

- ▽個人市民税と個人県民税をあわせて市・県民税と呼びます。
- ▽市・県民税が課税されるのは、平成26年1月1日現在、市内に住んでおり、平成25年中に一定額以上の所得がある人です。
- ▽1月2日以降に市外へ転出した人や亡くなった人も平成26年度分は南あわじ市で課税されます。
- ▽平成26年度の市・県民税は、平成25年1月～12月までの1年間の所得をもとに算出しています。平成25年中に退職し、それ以降働いていない人でも、退職までの所得により課税されます。
- ▽市・県民税が給与から天引きされる特別徴収の人は、5月に勤務先の事業所を通じて税額決定通知書をお送りしています。

税額=①均等割(定額) 5,800円 + ②所得割 税率10%

※東日本大震災の教訓を踏まえ、地方公共団体が実施する防災のための施策に要する費用の財源を確保するため、平成26年度から平成35年度まで均等割額が1,000円加算されます。

■税務課 ☎43-5022、収税課 ☎43-5034

**ふれあい市長室**

**有難や、南あわじ市!!**

南あわじ市長 中田勝久

沼島で「鱧(ハモ)供養祭」、福良で「べっぴん鱧まつり」が行われますと、いよいよ「鱧」が旬の時期に入つてまいります。甘味のある淡路島たまねぎは鱧すきとの相性が抜群です。ほかに、南あわじのとれたて野菜や海産物など地元のおいしさが集結した「南あわじ直販フェア」や西宮市で行われた「南あわじ&西宮とれとれ市」などが

多くの人でにぎわいました。島内に限らず多くの方が、南あわじの魅力に触れ、味わっていたに違いありません。大変うれしい限りです。

報道では、今年のゴールデン



▲「南あわじ&西宮とれとれ市」の様子

ウィークに明石海峡大橋を渡つた車の台数が昨年比4%増の約64万5千台とこのことでした。市内でもゴールデンウィーク後半の淡路ファームパークイングラードの丘の入場者数が、昨年同期比18%増の約3万6000人であったとのことです。早速、明石海峡大橋の通行料金が本年4月から値下げされた効果があつたのではないかと喜んでいきます。今後も更なる料金低減化に向けて努力してまいります。

来年には淡路花博2015花みどりフェアが3月21日(土)から5月31日(日)まで開催されます。メイン会場は淡路夢舞台と国営明石海峡公園(淡路市)ですが、市内でも淡路ファームパークイングラードの丘がサブメイン会場となります。さらに、開催に合わせ、あわじ島まるごと食の拠点施設(仮称)のオープンも予定しており、より多くの方々に淡路島、南あわじ市を訪れていただける絶好の機会になると期待しています。

さて、先日の日本創成会議

人口減少問題検討分科会の提言で、全国市区町村別の将来推計人口が発表されました。それによると、非常に厳しい条件で算出した推計値とはいえ、南あわじ市でも人口移動が止まらない場合、2040年の人口が3万1551人になるとの試算がありました。南あわじ市は早くから少子対策に取り組んで来た結果、減少率は島内の他自治体との比較では緩やかですが、警鐘として受け止め、今後も積極的に少子化対策をすすめてまいります。

少子高齢化時代の定住人口減少は避けられません。一つの対応として、交流人口を増やすことも必要です。少子対策と観光振興は全く別物のようですが、地域が活性化するためには、交流人口が増えること、賑わいのあるまちづくりが必要です。食の拠点施設についても、農水産業と観光を結びつける拠点になると確信しています。有難いことに、吉備国際大学の教員学生の皆さんも一緒に地域活性化、交流人口増に協力していただいています。市民の皆さんにおかれましては、施策へのより一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。